

都市環境セミナー

Seminar in Urban and Environmental Study

各教員

研究室：

e-mail:

授業内容

概要 技術者としての能力は知識だけで評価されるものではない。地球環境や資源問題を正しく理解し、技術者としての社会的貢献や社会的責任を思考する資質など人格にかかわる事柄も能力の一部として評価の対象になる。また、専門知識を実務に結びつける能力や報告書の作成、討議を通じての主張、結果を纏め上げる能力も必要である。本セミナーでは各教員が10名程度の学生に対応し、課題の発表を通してこうした能力の向上を図る。

授業予定

(前期と後期あわせて2つのテーマについて行う。以下は1つのテーマ分)

- 第1週 課題の説明、作業の分担
- 第2週 報告書の作成(自習)
- 第3週 成果の発表と討議、問題点の指摘
- 第4週 報告書の修正(自習)
- 第5週 再発表と討議
- 第6週 報告書の最終調整(自習)

参考書

各教員から指定される

学習到達目標

- ① 土木技術者として一人前になるためには幅広い知識や経験が必要となる。そのためには、早い時期に土木工学の全体像についてある程度知識を得ておく必要がある。
- ② また、本専攻の学習・教育目標である。1) 人格の向上, 2) 専門知識の養成, 3) 応用能力の育成 を身につけるためには、少人数のグループで、与えられた課題に対して、協力して問題を解決するという作業は非常に重要であると位置づけている。

授業の方法と特徴

- ① 前・後期を通じての通年の科目として開講されている。
- ② 別に示すように各教員がそれぞれ個性的なテーマを用意している。
- ③ 別に示すように10名程度の10班編成として、それぞれ各教員が担当する。
- ④ 担当教員は2名で2班を担当することになり、前期と後期で入れかわる。
- ⑤ 前期・後期それぞれに6コマ分のゼミと発表会を行う。ゼミの進行(日時)は各担当教員の指示に従うこと。
- ⑥ この担当教員がチューターを兼ねる。

成績評価の方法

成果の良否により、作業・発表・討議の過程で発揮される資質を評価したい。

教員からのメッセージ

一種の思考訓練であるから、(1)失敗を恐れず、(2)人まねを避け、(3)自己の能力を積極的に打ち出す姿勢で挑んでほしい。選択科目ではあるが、土木工学専攻では極力履修される事を期待している。